

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第16回会合

ご注意:

- ご参加いただいた方はすべて議事録にお名前とご所属が掲載され公開されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで公開されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。

日時: 2022年3月25日(金)17:00-19:00

参加者(五十音順・敬称略):

場所: オンライン開催

司会進行: <冒頭確認予定>前村昌紀

資料:

1. 2022年事前会合全体テーマ案
2. 2022年事前会合募集要項
3. (再掲、igf2021:415添付)2022秋イベントの推進体制について(ディスカッションペーパー)
4. (再掲、第14回会合資料)2022・2023年スケジュール案
5. 国内のインターネットガバナンス関連活動の組織化について

アジェンダ:

1. 本日の打合せの目的確認 [5分]

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況の共有
- 2022 秋イベント
 - 実施体制について
 - プログラム委員会からの(公募要領などの)提案
- NRI組織枠組み/仕組み

2. 前回議論の振り返り [10分]

第15回会合の概要[資料]:

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告
 - IGF 2021に関する調査委託事業について
 - ロシア、ウクライナ周辺について今後議論できれば
 - (質問)ポイントオブコンタクトと人的リソースについての依頼、他省庁へのエンゲージについてどうなっているか?
 - 国際政策課門屋氏、データ通信課白壁氏などにコンタクトいただければ。
 - 省内体制は色々な部署がテーマごとに関わってくるが少し時間がかかっている。
 - 他省庁については、外務省などとは話をしているが、交通整理がまだできていないので省内体制を作った上でアウトリーチしたい。
- IGF MAGメンバーからの報告
 - 第1回MAG会合と第1回Open Consultationが2月22日から24日にかけてリモート開催された。その内容が共有された。
 - メインテーマ決定: Resilient Internet for a shared sustainable and common future
 - BPF/PNIは5つ候補が並んでいるが、明日の会議で4つに絞る予定
 - WGは4つ更新が承認された。

- 6月の第2回MAG会合は対面開催を検討中。
- 秋イベントについて
 - 堀田氏より、ディスカッションペーパーを基に説明があった。
 - 2021事前会合の体制とAPriGF 2021の推進体制と比較してみた結果が紹介された。APriGFでは、
 - チェアが選挙で指名
 - 各コミッティの責任者も指名
 - 正式レポートを作成
 - ハイブリッド会合だったのでローカルホストがいた
 - 専任の事務局がいる
 となっていた。本チームで2021事前会合を開催後の反省点は、
 - 個々のサブチームの責任範囲というのが定義されていない
 - 定義されてチャーターがあるにもかかわらず十分共有されていない
 - 実行部隊である個人プレーでのケアが必要であった
 - Committee間、サブチーム間の連携とか登壇者への連絡、ロジの具体準備とか当日運営に関心を持つSecretariatというのが存在しなかった(定義されなかった)ので、このあたりがアドホックな属人的な対応になった
 - エンゲージメントチームについては、イベント向けというよりも、活発化チーム全体のエンゲージを意識していた
 - 2022秋イベントで体制が変わる要因となる要件：
 - レポート作成の有無
 - IGF事務局への報告と、我々自身の記録としてカンファレンスレポートが必要。
 - ハイブリッド開催の有無
 - ハイブリッドとするのであればローカルホストが必要
 - 2022秋イベント体制案
 - プログラムチーム
 - エンゲージメントチーム
 - プログラムチームと一体でもよいとの意見(本田さん案)あり
 - イベントチーム
 - 事務局(正式に設置する)
 - 経費:どのようなモデルにするか待ったなし
 - 次の組織化の話でやればよいのでは
 - 今からすぐに発生するので、3, 4ヶ月待ってからは遅い
 - 政府から支出いただくことはできないか
 - 直接活動費を支出することは難しい
 - プログラムチームの進め方で去年のものに追加した項目
 - セッション設計支援
 - 公募セッションのほかに追加するもの
 - ゲストスピーチを1~2個
 - 活発化チーム企画セッションを1~2個
 - プログラムチーム/委員会の立ち上げ
 - 2名しか委員の応募がなかった
 - 手を挙げた2名が他の候補に声を掛けることとする
 - 委員を増やすことを最優先とし、チャーター策定などは後回しとする
 - 地方にローカルハブを置いた方がよいのではないか

- ハイブリッド開催については、今すぐ決める必要はないが、要件書を作ったりしないといけないので、5~6月には決まっている必要がある。
- エンゲージメントチームについては、2021年の反省を作成する(前村、(igf2021:419)として送付済み)
- プログラム構成についてはプログラム委員会内で議論作成し、案を提示することする。
- 組織化
 - 準備が整っていないためスキップした。
- ユース
 - 時間がないためスキップした。

3. 宿題の進捗確認 [5分]

📌 IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チームtodo一覧表 を参照のこと

4. IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告 [5分]

5. IGF MAG報告[5分]

6. 秋イベント(事前会合/本会合)について [45分]

- 推進体制について
- プログラム委員会の進め方について
 - プログラム委員会の立ち上げを決める
 - 去年のプログラム委員に2名より声掛けをする
 - 公募セッションの評価だけでなく、担当を持ってプログラムの作り込みに責任を持つ
 - プログラム委員会チャーター範囲(エンゲージ入れるか、等)は今日決めなくてもよい/決められなかった

7. NRI組織枠組み/仕組みについて [45分]

- 実施体制について
- プログラム委員会からの(公募要領などの)提案

8. 本日の議論を受けたTodo確認 [5分]

- 秋イベント
 - 会合名を2択か3択にしてメーリングリストに流す(前村)
 - テーマ候補を2択か3択にしてメーリングリストに流す(上村)
 - ◇ 正式に決めるのは次回会合、1週間ラストコール掛けて確定
- NRI組織枠組み
 - 本日お送りした資料を見て、コメントをメーリングリストに送っていただく(全員)
 - ◇ コメントを踏まえ資料の精緻化(前村)

9. 次回打合せについて[5分]

- 次回アジェンダ(たたき台)
 - 秋イベント
 - NRI組織枠組み
- 次回打合せの開催時期(3週間おき開催が原則)
 - 元々開催予定であった3/28(月)から3週間後の4/18(月)17:00開始としたいが問題ないか?
 - 4月18日開催とする

10. その他 [5分]

-

以上